News of The Japanese Weekend School of New York

BIG APPLE

No. 31
4　Dec.　2010　発行
ニューヨーク補習授業校
発行責任者：校長　小野　康雄
56 Harrison St. Suite204,New Rochelle, New York 10801 U.S.A.
Tel:(914)636-3770　Fax:(914)636-7476

学習の成果を元気に発表！

ＬＩ校の初等部の子ども達が、朝の集会時に音読発表会を続けてきました。先週は１年２組の発表がありました。幼初等部の子ども達と保護者の見守る中、元気よく発表できました。担任の四軒町先生によると、１ヶ月ほどかかって練習してきたそうです。詩の内容は「シャボンだま」と「かずとかんじ」でした。全員で順番通りに発表するには詩を全て暗唱している必要があります。入学して８ヶ月、補習校での学習の成果が現れていると感じました。子ども達の成長の様子は、日々の生活の中ではなかなか感じられないものですが、確実に子ども達に力がついてきていることを知るよい機会になったとことと思います。

補習校は、週一回だけ現地校をお借りして学習するところですが、子ども達が日本語で学ぶ環境を作ろうと、実は先生方は朝早い時間からいろいろと準備してくれています。先週覗いたのは年長２組の吉田先生の教室です。入っていくと先生はウエットティッシュのようなもので子ども達の机を一つ一つ拭いていました。見るとティッシュが黒くなっています。結構汚れているようです。それが終わると前の黒板の左側にあった現地校の掲示物を布で覆い、その上に日本語の掲示物を張っていました。机の座り方や字を書く時の姿勢を分かり易く絵で示したものでした。黒板の右の方には、ひらがなの一覧表が大きく貼られました。黒板の下にも掲示物があります。こうして登校してくる子ども達を迎える準備をしてくれています。長い経験に裏打ちされたノウハウだと感じました。こうした先生方の献身的な努力によって、補習校が成り立っていることを改めて認識しました。

（ＬＩ校初等部三年一組の作文集より）
ハロウイーンの思い出　ソテーりえ

私は、友だちのハロウイーンパーティーに行きました。アメリカの学校でいっしょのゾーイとミアとジリアンとトリックオアトリートをゾーイの家の近くでしました。おかしをたくさんもらいました。重たくて、ふくろのそこがのびるくらいいっぱいもらいました。そのあとゾーイの家でピザを食べました。おしゃべりをしたり、たくさん遊びました。

私は、きゅうけつきになりました。黒いマントを着て、こしからくもをさげました。しもちろんおもちゃのくもです。ゾーイはふたりぎの国のアリスでした。すごく楽しかったです。

第３１回海外子女文芸作品コンクール
俳句の部で見事、受賞しました
特別賞「東京海上日動火災保険賞」

うんどう会
バトンをにぎりかぜになる

小４　吉藤杏菜

その他に
作文の部優秀　ビエムアディア奈月さん
俳句の部佳作　長田　卓さん、土井英奈さん、福島大朗さん
が選ばれました。
海外子女教育１１月号に載っていますので紹介します。